

2020年7月1日

血液内科に過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報公開)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体や診療で得られた残余検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 末梢性 T 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の有効性と長期成績を検証する多施設共同後方視的研究 (NJHSG PTCL SCT19)

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 北海道大学病院 血液内科 教授 豊嶋 崇徳

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院 血液内科 助教 中川 雅夫

[共同研究機関名・研究責任者名]

北海道大学病院 血液内科 中川雅夫
久留米大学医学部 病理学講座 大島孝一
北榆病院 血液内科 太田秀一
市立札幌病院 血液内科 山本聡
愛育病院 血液内科 盛暁生
北海道がんセンター 血液内科 黒澤光俊
札幌厚生病院 血液内科 岩崎博
勤医協中央病院 血液内科 佐賀智之
斗南病院 血液内科 長谷山美仁
市立函館病院 血液内科 堤豊
市立旭川病院 血液内科 柿木康孝
釧路ろうさい病院 内科 宮城島拓人
帯広厚生病院 血液内科 小林一
北見赤十字病院 内科 永嶋貴博
市立稚内病院 内科 国枝保幸
手稲溪仁会病院 血液内科 酒井基

[研究の目的]

末梢性 T 細胞性リンパ腫各病型に対する造血幹細胞移植の有効性を検討する。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2000年4月1日から2021年3月31日までの間に本研究に参加する施設において病理検体検査を施行され、末梢性T細胞性リンパ腫と診断された患者さんを対象とする。

○利用する検体・カルテ情報

検体：病理組織残余検体（もしくは残余未染標本）、あるいは患者血液保存検体。

新たに得られる検体を使用する場合：市立旭川病院で診断目的で得られるリンパ節等病理組織の残余検体。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査等）

この研究は、当院の関連病院で末梢性T細胞性リンパ腫の患者さんの治療を行っている機関で実施します。末梢性T細胞性リンパ腫各病型に対する造血幹細胞移植の有効性の解析のために、上記の検体やカルテ情報を北海道大学あるいは久留米大学に郵送で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2023年3月31日（登録締切日：2021年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して管理いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[研究責任者；連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院血液内科 担当医師 中川 雅夫

電話 011-706-7214

[市立旭川病院 研究責任者；連絡先]

北海道旭川市金星町1丁目1-65

血液内科 担当医師 柿木 康孝

電話 0166-24-3181